

齊藤北陸総合通信局長がえふえむ・エヌ・ワン(76.3MHz)を訪問し、激励しました

齊藤一雅北陸総合通信局長は、平成25年4月12日、石川県野々市市でコミュニティエフエム放送を行っている“えふえむ・エヌ・ワン(76.3MHz)”を訪問し、激励しました。

えふえむ・エヌ・ワンは、平成7年12月27日に開局した北陸における最初のコミュニティエフエム局で、野々市市とその周辺を放送エリアとしています(放送対象世帯は60,427世帯)。

『未来系ラジオ』を謳う同局の番組はラジオで聞けるだけでなく、ネットによる音声のサイマル放送はもとより、Ustreamによるスタジオ風景等の映像配信も行っています。スマートフォンにも対応しています。

同局では、野々市市役所内にもスタジオを設置して、市長をはじめ市役所の職員が生出演する同市の広報番組を年間500時間以上放送しています。また、スタジオが金沢工業大学の敷地に隣接していることから、現役の金沢工大の学生がラジオ番組の制作に参加、さらには、地元の高校生がDJとして出演する番組まであり、100%自主制作の放送局にしかできない地域密着の親しみと熱気を感じました。

北陸総合通信局では、引き続き、コミュニティエフエム放送が地域から愛され発展していくよう様々な形で応援していきたいと考えています。



金沢工業大学の敷地に隣接する
えふえむ・エヌ・ワン



坂野 代表取締役放送局長と意見交換



えふえむ・エヌ・ワンの放送スタジオ